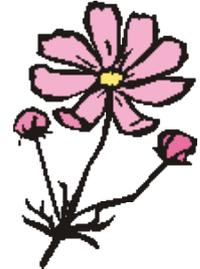




希望の花

鶴ヶ島市立西中学校
学校便り No.6
令和7年9月30日
文責 校長・真武公司

ようやく朝晩は秋めいてきました。体育着の登校から、制服での登校に切り替わり、秋らしさを感じます。「今年の夏は異常な気温だった」ではなく、「日本の夏の気温はいつもこのくらいだ」になりそうな気がして、憂鬱な気分になります。東京大学の三浦裕亮准教授は、「熱帯の海や大気が、全体として数百キロメートル北に上がったイメージ」と指摘しています。つまり、日本の本州付近まで熱帯に近い環境が迫ってきているということです。長期的な温暖化によって社会全体の気温が底上げされている(ゲタを履いている)状態に、ラニーニャ現象などの自然変動が重なると、今年のような記録的猛暑、あるいはそれを超える暑さがいつ起きてもおかしくない、というのが現在の科学的な見解です。今回の猛暑を「数十年に一度の偶然」と片付けてしまうのは非常に危険なのだそうです。益々憂鬱になってきました…。



さて、2学期が始まり1ヶ月、順調なスタートが切れています。運動部は新人戦が行われ、陸上、卓球、男子バスケット、男子ソフトテニスが県大会へ駒を進めました。その他の部活動も新チームづくりが着々と行われています。10月に入ると、生徒会の本部役員選挙が行われ、世代交代が終わります。「もう新入生とは言わせない1年生」「西中の中心となる2年生」「当たり前前の学校・家庭生活を送りつつ進路実現を図る3年生」 2学期の始業式で各学年に話した内容です。それぞれの学年が目指すところに向かい、邁進して行ってほしいものです。



義務教育で芸術教科を学ぶ意義

10月の合唱コンクールに向けて音楽の授業で準備が進められています。クラスでの取組が始まると学校のいたるところから歌声が響いてくるようになります。

「学校教育法施行規則」という国が示す法令の中に「中学校の教育課程は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語の各教科、特別の教科である道徳、総合的な学習の時間並びに特別活動によって編成するものとする」とあります。国語、社会、数学、理科、英語の5つの教科はいわゆる「学力」としてイメージが付きやすい教科です。保健体育は体力という生きていく上で根幹をなす力に必要ですし、技術・家庭は社会生活に密着



した内容を取り上げています。はて、音楽や美術の芸術教科の役割ってなんなのでしょうか。「中学校学習指導要領」には「生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、…」と示されています。ヒントはここにあるのかなと思っています。



令和7年8月30日の読売新聞に「開成・灘に聞く 『なぜ芸術を学ぶのか』 大学受験に直結する教科を重視する学校が少なくないなか、開成・灘では昔も今も芸術教育を大事にしている。AIの時代になぜ芸術教育が必要なのか」という特集記事が掲載されていました。開成・灘の両校の根底には「感性の涵養」があります。「主体的な学びの原動力は、好奇心と探究心であり、それらが育つ土壌は豊かな感性。感性を磨くうえで、芸術を学ぶことが大きな意味がある。」「硬い土地には作物は育たない。その土をほぐしてくれるのが芸術教科。ほぐされた中で大きく根を張って成長してもらいたい。芸術は一生に渡って心の栄養になる。」とそれぞれの校長先生がお話されています。

エリートとは、社会の中で特権的な地位を持ち、政策決定や経済活動に大きな影響を与える人々のことを言います。日本でエリートというと、いわゆる一流大学を卒業した選ばれし賢い人というイメージが強いと感じます。一方欧米では、いわゆる学力を備えていることはもちろん、立ち居振る舞いを含めた人間性、スポーツや芸術にも精通した人のことをいうようです。つまり、運動も得意で、音楽や絵画についてうんちくを語れる人間性豊かな人なのです。開成・灘では、欧米型のエリートを育成を目指しているのではないかと思います。

さらに、我が国が目指すべき未来社会の姿である「Society 5.0」の社会では、AIが更に進化を遂げることは間違いありません。しかし、AIが苦手な分野として「創造性や独自の発想が必要なタスク」「直感や感情の理解」「アートや音楽の創作」などが挙げられています。まさに、芸術教科で育成を目指している「感性」にかかる内容です。今後、生成AIによって創造的なタスクが可能になったとしても、人間が受け手として存在する以上、感性の涵養は必要であると思います。

芸術教科の有用性は理解しても、得意・不得意の差が激しいのもこの教科の特徴です。私自身、音楽は当然得意ですが、中学を卒業するときに「これでもう美術の授業を受けなくて済む」と喜んだくらい美術は苦手でした。それも個性の1つとして、苦手でも構わないので、自分のできる範囲で努力しようと思うことが大事なのだと思います。

10月の主な行事予定

1日(水)	集金日	21日(火)	生徒朝会
2日(木)	中間テスト(～10/3)	22日(水)	あいさつ運動
7日(火)	学校朝会 生徒会役員選挙	23日(木)	水泳授業①
8日(水)	陸上県大会	24日(金)	合唱コンクール準備
9日(木)	進路学習会	25日(土)	合唱コンクール(弁当なし)
10日(金)	3年実力テスト	27日(月)	振替休業日
14日(火)	校内授業研究会(3-2以外4時間授業)	28日(火)	3期時間割開始
15日(水)	生徒朝会(引継式) 専門委員会	29日(水)	生徒朝会 中央委員会
16日(木)	駅伝予選	30日(木)	水泳授業②
		31日(金)	市内合唱祭
		[11月]	4日(火)～10日(月) 面談期間